

こども学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	21	幼児と環境

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CS-1-BSN-01				
	●				●					
科目名	幼児と環境				単位 認定者	小野瀬 剛志 田中 公一		評価 の方法	試験 (レポート)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	こども学科	選択	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内 課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	幼児の発達における環境の重要性について学ぶ。幼児の発達にとって、自然環境、社会環境、人的環境、物的環境がもつ意味を理解し、よりよい環境とは何かについて体験や知識の獲得を通して理解を深める。また、現代的課題としての幼児教育と環境の関係性について理解を深める。									
到達目標	1 幼児の発達における環境の重要性を理解する。 2 自らの体験を通して、幼児の発達にとって適切な環境とは何かを考え、伝えられるようになる。									
学修者への 期待等	この授業は講義形式で行う授業だけでなく、実際の体験をもとに、自らの考えをまとめ、発表する内容が含まれているので、積極的な授業参加をお願いします。									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	オリエンテーション（授業概要の説明、人間発達における4つの環境）								小野瀬 剛志	
2	環境と子どもの発達（人間の成長は、素質か、環境か？）【遠隔（オンデマンド）】					人間の発達にとってより重要な要素は素質か環境かを、ピアニストなどを例に考え、まとめてくる（概ね1時間）			小野瀬 剛志	
3	人的環境と「心」の発達【遠隔（オンデマンド）】								小野瀬 剛志	
4	現代の生活環境と保育①（日本の家族の変化）【遠隔（オンデマンド）】					少子化の要因について、家族の視点から考えてくる（概ね1時間）			小野瀬 剛志	
5	現代の生活環境と保育②（自然、社会環境の変化）【遠隔（オンデマンド）】								小野瀬 剛志	
6	現代の生活環境と保育③（「持続可能な社会」と幼児教育）【遠隔（オンデマンド）】					「持続可能な開発のための教育（ESD）」について、ユネスコのHP等を参考にまとめてくる（概ね1時間）			小野瀬 剛志	
7	身近な環境を利用した保育計画の考え方								小野瀬 剛志	
8	保育計画の準備								小野瀬 剛志 田中 公一	
9	身近な施設と保育①（植物園見学）					仙台市周辺の野草について調べてくる（概ね1時間）			小野瀬 剛志 田中 公一	
10	植物（園）と保育（植物園振り返り：グループワーク）								小野瀬 剛志 田中 公一	
11	身近な施設と保育②（動物園見学）					幼児を動物園に連れていく意義についてまとめてくる（概ね1時間）			小野瀬 剛志 田中 公一	
12	動物（園）と保育（動物園振り返り：グループワーク）								小野瀬 剛志 田中 公一	
13	身近な施設と保育③（公園）					公園での遊びを考えてくる（概ね1時間）			Aクラス：小野瀬剛志 Bクラス：田中公一	
14	身近な環境と子どもの発達（公園体験の振り返り：グループワーク）【遠隔（オンライン）】								小野瀬 剛志	
15	総括（人的環境としての保育者）					これまでの授業から「人的環境としての保育者」の役割についてまとめてくる（概ね1時間）			小野瀬 剛志	
教科書	特になし									
参考文献	適宜紹介する									
備考	7・8・9・10・13・14回目は2クラスに分けて実施し、各教員が2クラス担当するが、13回目は各教員が1クラスずつ担当する。 ただし、状況によっては4クラスに分けて実施する場合もあり、その際は各教員が2クラスずつ担当する。 授業内で課した課題については、後日コメント等を付して返却する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--